

令和4年度 一学期始業式講話 「思いは人をつくる」

この写真の人を知っていますか。2012年のロンドンオリンピック柔道女子57キロ級で金メダルを取った松本薫さんです。左の写真は、一昨年、東京オリンピックの聖火リレーに選ばれたときの写真です。右が、その前年、現役引退を表明したときの写真です。同じ人でも、こんなに表情が変わるのですね。今日のテーマは「思いは人をつくる」です。彼女は、6歳から柔道を始め、最初の頃は、早く休みたいのでわざと負けたりしていたそうです。そして、実家に逃げ帰ったこともあったと聞いたことがあります。それでも、柔道日本一、世界一を目指します。そのような中で、ある有名な選手と戦ったとき、ぼろぼろに負けたそうです。そのときこう思ったそうです。「自分は凡人、天才には勝てない」と。それでも彼女は、あきらめませんでした。「家族の笑顔のために。」そうした思いがあったからだそうです。「自分は天才ではない。」そこから相手を知り、戦略を練るようになったそうです。その戦略の一つが、あの「野獣」と言われた表情です。そして、金メダルを獲得。

人は、「思い」によって、こんなにも強くなれるのですね。

「物事を成就させる原動力・・・それは思いです。ひたむきに、強く一筋に思うこと」。実業家の稲盛和夫さんもそう言っています。

「人間は思いの主人公であり、人格の製作者であり、環境と運命の設計者である」(哲学者：ジェームス・アレン)

人間は自分自身の思いから、行動し、自分の思いが描く方向に向かって自然と進んでいくものだと私は思います。どのような思いをもつのかを決めるのは、自分です。人格をつくるのも、また、自分。人格が環境を変え、運命を変えます。まず、心に自分の「思い」をもたなければ、自分の人生は始まりません。そして、繰り返す行動が習慣となり、よい習慣がよい人格を作ります。思いは、人によって違います。それぞれの思いがあります。だから、人生は面白いし、やりがいがある。

学校は、教育の場です。

教育は、「人格の完成」をめざして行われます。ですから、人格を磨き合う場である学校において、大切なことは、自分も含めて、みんなの思い、夢、希望を大切にすることです。反対にその人の夢や希望を馬鹿にしたり、人格を傷つけるようなことをしたりしてはなりません。それぞれにとって大切なものを、お互いに大切にします。大事なことは、一人ひとりが、お互いの人格、すべての人の人格を尊重する心をもつことです。

私は、みなさんが、お互いを認め合い、応援し合う仲間であってほしいと思います。

まとめます。

学校は、人格を認め合い、磨く場です。そして、みなさん一人一人が、こうなりたい、こうありたいと願う心を、「志」として立ててください。心の底から、「なりたい自分」を見つけてください。みなさんの中にはすでに、思いがあるはずです。そして、目標を持って、日々その目標に向かって歩いてください。まだ、目標が見つからない人は、自分の強み、弱みを見つめてください。そして、強みを生かす道を探して、そこから、なりたい自分を見つけてください。そして、やり抜いてください。失敗したっていい。何度でも挑戦し、やり抜いてください。

それぞれの初志貫徹を、みんなで応援する、そんな学校にして行きましょう。

初志貫徹、ゆっくりと、一步一步確実に 柏中央生の合い言葉にしてほしいと思っています。